**第31回観察会　2005年10月25日(火) 12:00～12:55　晴れ**

**テーマ『水辺の植物たち』**

**☆ガイドのレポート**

朝夕が肌寒い季節になってしまい，植物園も春の華やかさ，夏の賑わいをすっかり忘れてしまっています。この時期ならではの見所というのは非常に限られていて，今回のテーマである水辺の植物にいたっては，花がないのはもちろんのこと，寒さに縮みこんでいて，名前を尋ねるのも忍びない姿をしているものもしばしばでした。今は見えない植物の魅力をどうすれば伝えることができるのか，大勢の参加者を前にして（そのこと自体は大変うれしいことなのですが），植物の専門家にはほど遠い私は結構がんばったのですけれど，一厘でも思いを共有できたのなら幸いです。

見えないものを信じてもらうためには，情報を一方的に羅列してはいけません。こういうとき，和名の由来というのはとても便利な話題ですね。植物の和名は実に雅で，古人のネーミングセンスには時として唸らされるものがあります。クワイに似た強害雑草はクログワイ，羊の刻に咲くからヒツジグサ（スイレンが一般的），花が蕎麦に似ているからミゾソバ，といった具合に。

しかし，それでも足りないところは関西人らしく，自分をネタにして興味をひくしかありません。そもそも，カタツムリなんかを研究している私が，植物のガイドを引き受けたのには深い事情があります。そこは[以前書いた雑文](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/goiken/koe.html)に詳しいのですが，要するに，京大に入学する以前からこの植物園の水草に魅せられていたということです。京大に植物園がなかったら，ぼくには別の人生があったのかもしれません。

話がそれました。水辺の植物，とくに水にどっぷり浸かっているひとたちのことを十把一絡に水草と呼びます。その中には縁もゆかりもない分類群の植物がいろいろ（日本には200種ほど）含まれるわけですが，ひとつ共通する困った特徴を備えています。それは，環境に応答してその姿をおおきく変えてしまうということです（可塑性といいます）。ですので，多少はっぱの形が違っていても同じ種であることが多いですし，逆に同じ種だと思われていたものがほんとうは別種（一方が新種）ということも未だにあります。水草に共通する特徴はもうひとつありました。それは，絶滅が危ぶまれる種が多いということです。日本にはかつて豊葦原瑞穂，あるいは秋津洲という国名がありました（秋津とはトンボの意）。この名は，この国土の平地が，水田耕作を基幹産業とした豊かなウエットランドに覆われていたことを如実に表しています。この原風景が今後もあるべき姿なのかどうかには科学的な議論が必要だとは思いますが，ほんの数十年前まで普通にいた可憐な植物たちがいなくなってしまうのは，とても淋しいことです。せめてこの植物園には，いつまでもいてほしいですね。

観察した植物：ヘラオモダカ，ハス，アカウキクサ，クログワイ，オグラコウホネ，オゼコウホネ，チャワンバス，オオガバス，コダイバス，コナギ，ヒシモドキ，シロネ，ハンゲショウ，ヨシ，ミゾソバ

ガイド：細将貴さん（京都大学理学研究科）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* ・興味はあるけど系統的な知識の乏しい私に、優しくわかり易く説明していただきありがとうございました。これから水辺を散策しても一つ一つの名もない（今までそう思っていた）植物を大切に見ることができると思うと、とてもうれしいです。大学の方が様々な水生植物を研究し守っていかれるため、国はもっと予算化してあげて欲しいと願います。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（実名OKなのに無記名のかた）
* 初めて植物園を見ましたが、割と雑多な感じがしました。木や植物の名前を出来る限り展示版で知らせて頂きたいです。　　　　　　（京大農学部１回生のかた）
* 水生植物が充実していたのがたいへん良かったと思います。　　　（京大農学部１回生のかた）
* 水辺の植物、鑑賞はしてもしっかり名前を尋ねたことはありませんでした。帰ってから植物図鑑をみてみたいです。楽しかったデス。（近所にお住まいのかた　山内好子さん）
* 普段、水辺をのぞきこんで、水草をじっくり観察することはほとんどありませんでした。今日を機会に、水辺をのぞきこんで、いろいろ観るように心がけようと思いました。　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* はじめてのテーマ、楽しかったです。河骨も3種見る事ができてよかった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球環境研のかた）
* 植物の多様性を改めて認識しました。植物園は京大の宝ですね。　（学内のかた）
* ガイドさんの思い出を含めたお話、とてもおもしろかったです。水草も多様なことがわかりました。花が咲いているときにまたやって欲しいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大理学部のかた）
* 水辺のいままで知らなかった草花の名前が分かって良かったです。ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学内のかた）
* たくさんの水草が生息っしていることを知りました。次回はハスの花が咲いている時にお願いできるといいかな・・・と思いました。有難うございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球環境研のかた）
* 秋の植物観察は始めて。ありがとうございました。　　　　　　　（近所にお住まいのかた）
* しょうぶ湯のしょうぶは里いも科？のしょうぶだったのですね。花のしょうぶと信じていました。びっくりです。　　　　　　　　　（京大情報環境部のかた）
* 仕事のあいまの昼休みのため、ゆっくり参加できず残念だ。土よう日などにも開いてもらえるといいなあとおもう。少人数で申しこんでいろんな質問にもこたえてもらえる会もあればぜひ参加したいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所にお住まいの京大附属図書館のかた）
* ほとんど知識が無く、参加したのですが、細かい説明でとても有意義でした。参加する前に自分で少し勉強しておくともっと楽しいかなあと思いました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所にお住まいの京大教育学研究科のかた）
* 菱○（ひしもどき？）という水生植物。じーっと見ても見ても、どれなのか（？）わからないけれど、説明者の植物への思い入れがこちらへ伝わって、こちらまで暖かい気持ちになった。　　　　　　（京大農学部図書室のかた）

[戻る](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/kansatu/kansatukai.html)